

窯を開けるとすてきな

陶芸作品が……



平成

20

年度

2月

学校だより

京都市立桃陽総合支援学校

訪問教育

冷え込みの厳しい季節になってきました。ただいま小学部四人、中学部三人の訪問教育です。

十二月に成型した陶芸のお皿やおわん。今度は絵付けです。今回も前回と同じ四人のメンバーが学校に集まり、二十色の色からつけたい色を選び模様塗ったり、自由に絵付けしたりと、取り組みました。仕上がりを想像すると思わずみんなに「初めての手がかりが面白かった。」ととてもよかったです。「出来上がりが楽しみです。」などの感想が聞きました。病院で絵付けしたHさんと。抹茶茶碗に使うことを想定して緑の濃淡で色付けしたり、モノトーンのモダンなお皿にしたり、と楽しんで仕上げました。Aさんは外国のおみやげで出てきそうな雰囲気、靴型や足型の置物がいい味わいを出しています。千二百五十度に設定して一日中かけて焼き上げま

す。陶芸は焼き上がるまでをイメージしたりできるのが醍醐味ですね。自分たちで、窯を開けるわくわくどきどき感を味わえないのが残念です。

【朝の東福寺散歩】

第一日赤に入院して運動の指示が下りた中学生学習で、東福寺へ散歩に出かけています。ピーンと張り詰めた朝の冷気がほほに心地よく、ちりひとつなく掃き清められた境内を歩くと静謐（せいひつ）な空気がただよいます。

歩みを進めると、そこだけ静かな別世界に引き込まれます。体を動かして病院に戻ると別の学習にも気持ち新たに切りかかっています。

『文字は私の命や』を鑑賞して

本校小・中学部
一月十九日、人権学習の一環としてひとり芝居『文字は私の命や』を鑑賞しました。戦争や差別、貧困などの理由によって

文字を奪われた人々、文字を奪われるということ、人間として生きる権利をも奪われることにつながるということが劇を通して伝えられました。

お給料を受け取る際名前も住所も書けないこと、そしてその時についたウソ・・・、子ども達に「この漢字、教えて。」と聞かれても教えられない、そしてその時の苦しい言いわけ、ごまかし・・・、病院でも文字がわからず治療が受けられない、結局薬局で済ませる事実・・・、地図が読めず仕方なくタクシーを使うことになる場面・・・。このように文字が読めない、書けないことは生活する上で様々な問題が起こってきます。それは命を奪われることと同じくらいに重大な問題でありつらいことなのです。

その後、主人公は「識字教室」に通って前向きに文字の勉強をします。そして文字を学ぶ喜び、文字を獲得することでいろいろな楽しみが増え、人に自分のことを伝え、

世界が広がり、希望に満ちあふれた姿を見せてくれます。学ぶということは人生を豊かにし、生きる力を育むものだと思えてくれました。

そして最後に、自分の人権は自分で守ること、とのメッセージがありました。わたしたちも身の回りを振り返り、ひとり一人の人権を大切に差別を許さない社会にしていきたいものです。

もうすぐ節分!

京大病院分教室

小学部八名、中学部二名と子どもの数も減り、少し落ち着いて学習できるようにになってきた京大病院分教室です。休み時間に



は、カルタ取りや百人一首をしてお正月気分を味わいました。

小学部では、「好きにしてー」を合い言葉に、空き箱を利用して、作品づくりをしました。好きな色、好きな形、好きな角に目、鼻、口をつけて、せつせと作って完成した



のは、鬼。目の部分に穴をあけて、本当にかぶれるお面にした人もいれば、マスクをした風邪気味鬼にした人もいました。みんな、それぞれ好きに作って、赤鬼、水色鬼、ピンク鬼に黄緑鬼、とカラフルな鬼たちのできあがりです♪

中学部では、国語の時間に書き初めをしました。それぞれ決まった課題に真剣に取り組み、立派な「書」を書き上げました。せつかく筆を持ったの



だからと、課題の書だけにとどまらず、好きな字を書いたり、好きな言葉を書いたり、絵を描いてみたりと、しつかり書写の時間を楽しみました。

府立医大分教室

大寒も過ぎ、日の出も一日一日早くなってきました。野山の草木も雪の下で春の準備を始めている頃だと思えます。一月から新しい友達を



迎え、人数も増えました。毎日色々な取組をしながら、交友を深めています。小学部では、「Tシャツの絞り染め」をしました。まず、ビー玉・ビーズ・

おはじき・輪ゴムなどを使って、「しぼり」を作ります。次に、鍋に紅茶とTシャツを入れて十分ほど炊き、冷めるまで浸しておきます。その後きれいに洗い、塩水に一晚漬けて色を定着させ、洗って乾かすという方法です。子ども達は、どんな模様になるかワクワクしながら、ビー玉などを外していました。

出来上がったTシャツを着ての登校。よく似合っていました。タイトルを使って、コースターや写真たても作っ

ています。部屋で使えるといいなと思います。一月二十二日にはAL Tの先生が来てくださいました。まずは、挨拶と自己紹介をしました。次は、身に付ける物(服や靴など)や体の部分の名前を英語で発音しました。聞きなれた単語もありますが、正しい発音を聞くのが微妙に違うことが分かりました。歌を歌ったり



英語の「読み聞かせ」をしてもらったりと、あつと言う間に時間が過ぎました。

これから、小学部・中学部共にまとめの時期を迎えます。今後も、オルゴールコンサートや部屋で使える作品の製作など、楽しい取組を交えながら充実した日々を過ごしたいと思えます。

とべたよ、跳び箱

小学部

「とべた。」「ヤッタ。」と体育館にうれしい声が聞こえます。初めて跳び箱がとべ、とび上がって喜びました。入院治療のおかげで体が身軽くなり、跳び箱をとんでみようと言う気持ちが出てきました。一月から始めた跳び箱の学習の様子です。跳び箱は今までとべなくて苦手だった子どもたちが多かったのですが、個別指導と温かい励ましの中で、意欲的に練習しています。四段がとべたら五段へ、五段がとべたら六段へ、六段がとべたら七段へと高いレベルに挑戦していきます。また、開脚とびだけでなく、台上前転などいろんなとび方も練習しています。「あと三回とんだら終わりにしましょう。」という声がかかってもなかなかやめられなくて、とんでいる子もいます。真っ赤な顔をして汗をかくほど何回も練習を繰り返していま



す。そんな一生懸命に練習するみんなの姿はとてもステキです。低学年の子どもは「したことないから」といって、見ているだけでしたが学級の時間には練習をし、とべるようになったことから見ているだけでなく、みんなが楽しそうにとんでいる姿に影響され、とんでみようという気持ちになりました。跳び箱を横にして練習を始めました。何回も練習をしてとべたときには満面の笑みを見せてくれました。

看護学生さんとの出会い 大切

国立病院分教室

小学部三名・中学部一名 計四名の子ども達と一緒に部屋から仮の分教室まで登校しています。雨や雪が降っていない時、短い距離外気に触れるので防寒の準備や体調管理を促す保母さんや看護師さんも協力しています。ある日、担当の看護学生さんと一緒に登校してきました。以前の場所が広がったためか担当の人が



教室にはいると狭く、こともあるけど良くなるようになってくれたらいいです。以前入院した生徒で看護師さんきやかかわりかたがったのでしよう。看に憧れ、そんな気持

節分に向けて教室の前の掲示板に鬼の折り紙を作って展示しました。見本を見ながら、見本を一度開きなおしたり、折rinaおしたりしながら完成させました。



完成した鬼は思っていたより小さい鬼でしたが、さっそく掲示板に掲示しました。

学校便り二月号

学校便りも二月号となりました。二月といえれば年度に備えて準備を始める季節です。最も端的な例は受験です。中学三年生の多くがこれからの受験に備えて頑張っています。多くといいましたのは何人かの生徒はすでに進路先が決定したからです。進路先が決ま

るということは学校にとつてもとてもうれしいことの一つです。三月には中学三年生全員の明るい笑顔が見たいと思っています。

今三年生の面接の練習を手伝っています。各学校で面接の時の質問事項は違うのですがよくされる質問の中で「あなたは中学の時一番うれしかったことはなんですか」というのがありません。面接の質問というのは、簡単な質問でその人のものの考え方や感じ方が分かるようなものをします。この質問には「それはなぜですか、理由を言ってください」という追加質問がされることによくあります。うれしい事というのはいろいろあるでしょうが私たちが最も喜びを感じるの、目標を決めてそれを達成するための努力をしてそれが達成できた時ではないでしょうか。この目標が大きく、困難なほど達成した喜びは大きくなります。この達成感というのとは何かを真剣に取り組んだ経験がないと感じることができません。

最近WIIを買いました。ソフトとして幾つかのスポーツが入っているものを選びました。ボーリングをしてみましたがなかなかうま

くいきません。ちよつと練習をしてこつをつかむとストライクが出るようになりました。ストライクが出るとなかなか気分のいいものです。何度かすると二百点近い数字が出るようになりました。楽しいのですが何か物足りなさを感じます。

昔ボーリングブームというのがありました。私も一時熱中しました。「二百点が出したい」そんな思いでボーリング場へ行っていました。本を読んだり、うまい人のアドバイスを聴いたり、プロのホームを見習ったりしました。安定した投球をするには下半身が安定していないとだめだということが分かり、走ったりウエイトレニングをしたものです。うまくなるために計画的に練習をしました。でも二百点を出すことはなかなか出来ませんでした。同じ頃に初めたのに二百点を出す友達が何人か出てきました。私の心に焦りの気持ちが出てきました。強いボールを投げようとするとますますミスが多くなって点数は悪くなりました。ある時ストライクを多く出すにはスピードのあるボールより回転のよいボールを投げる方がよいことを教えてもら

いました。練習をしてイメージ通りの軌道が数多く投げられるようになりました。ある日、にストラックアウトをば二百点を超えるというイメージがありストラックアウトをすることができました。ボーリングをやりはじ二年間やつと目標の点を出すことが出来ました。あの時の「やったあ」という気持ちとうれしさは今残っています。

さて、ゲームのボーグと実際のボーリングの違いはどこにあるのでしょうか。パーチャルとという違いはむしろありません。違いの一つは目対する思いです。ゲームは何となくやつていなく工夫してやつてい二百点が出るようになした。実際のボーリングの目安として二百という数字を私も出したという強い思いがあります。いろいろの努力の結果と出すことができたことでした。

この達成感というの、験した人と経験しな人では違いが出てきま

1月・2月 行事予定

日 曜	本 校 (含む訪問教育・支援部)	桃陽病院	分教室 (国立・京大・医大・二赤)
19 月	保健週間 ALT来校週間 夜間学習		集会 (京大)
20 火			
21 水	児童生徒運営委員会		課外
22 木	夜間学習	誕生会	
23 金			
24 土	教育美術展 (京都市美術館)	外泊日	
25 日	↓	↓	
26 月	夜間学習		
27 火	音楽鑑賞教室・4前 (小5)		集会 (二赤)
28 水	児童生徒運営委員会		課外
29 木	巨匠展 (2月1日まで) 夜間学習		巨匠展
30 金			
31 土			

日 曜	本 校 (含む訪問教育・支援部)	桃陽病院	分教室 (国立・京大・医大・二赤)
1 日	巨匠展	外泊日	巨匠展
2 月	朝会 保健週間 夜間学習		
3 火	フッ化物洗口		集会 (府立)
4 水	児童生徒運営委員会 職場体験学習		課外
5 木	職場体験学習 夜間学習		
6 金			
7 土		外泊日	
8 日		↓	
9 月	夜間学習		集会 (京大)
10 火	フッ化物洗口 P本部役員会 私学高校入試	保護者面談日	集会 (国立)
11 水	建 国 記 念 の 日	↓	建 国 記 念 の 日
12 木	学校保健委員会 (2:30~) 夜間学習		
13 金			
14 土		外泊日	
15 日	まなびの森整備 (みどりの会)	↓	
16 月	夜間学習		
17 火	フッ化物洗口		
18 水	児童生徒運営委員会	試食会	課外
19 木	夜間学習		